

人生

至高の

Scale of Zephyra
Fan Book 2005

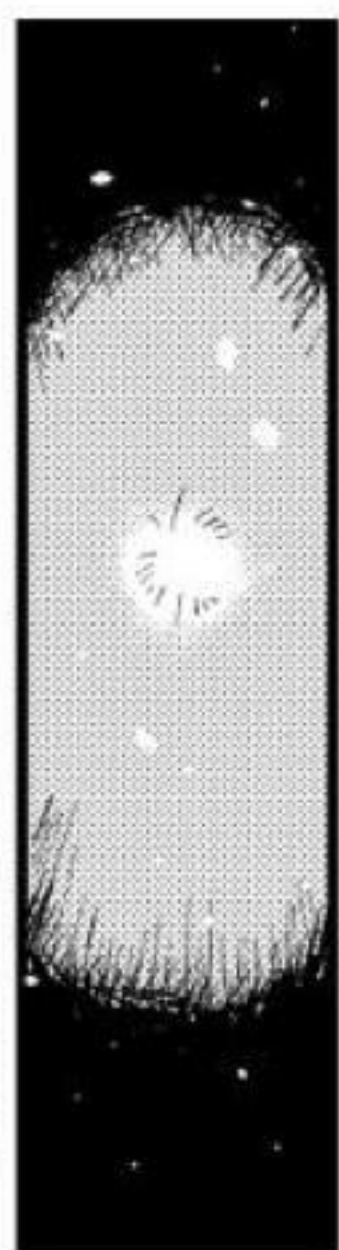
A life supreme

Sarey x Mikleo R-18 ♡





イズチを出した時も思ったけど





どこまで
付き合っ
てく
れるの
だろ
う





そのうち慣れるだろ



ま



…なんだまだ起きてたのか

さつきだから居たんだが？

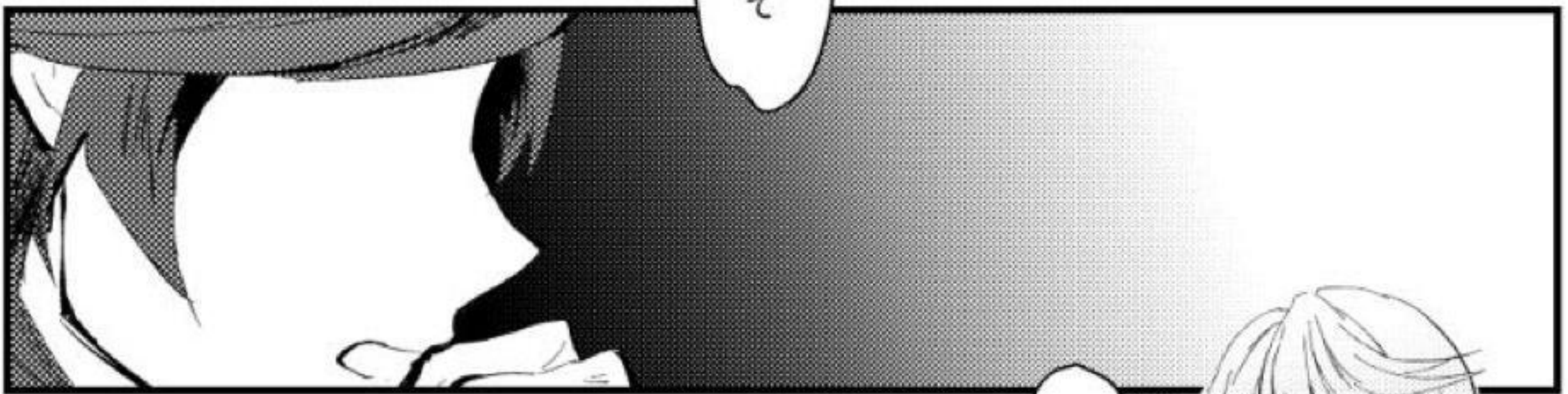


ああ
そんな間じゃないよな？



無言でなんだよ
遠慮するようない間でもないだろ？















ありがとうございます
でも

ミクリオ



うん

じゃあ
上着避けて
汚すなよ



ん

ミクリオに
插れたい



も



ん

ミクリオに
插れたい



ミクリオ大丈夫？

ん、大丈夫だ



ア、ア、ア

ア、ア、ア

ア、ア、ア

ア、ア、ア



ア、ア、ア



ア、ア、ア



ア、ア、ア

ア、ア、ア

ア、ア、ア

ア、ア、ア



...それは

なんか右類かりだな

君が一生懸命
顔傾けてるからだよ
バカ



ジロジロ
見るなよ

やだ
もったいない

もったい...

...本当に
大丈夫なのか?



ん



ずるん

大丈夫
日常生活に
支障はないよ

ね
日常生活

でしょ?

すまじい...





こうしてると
ギュッと出来て
安心するし

だから
じっくり見るのは
また今度な



…いいのか？

顔
見えないだろ

うーん
中途半端なもの
もつたないし

ん？



ね…また今度

そっ

また今



度っ

ん？







…ありがとう



わかったら
先にお風呂
行ってこい



…相変わらず



なあ
ミクリオ

それって
すごい事だ



僕は
僕のように
してるんだ



寝つき
良いよなあ



ありがたい
でも嬉し
いよ

スレイ
彼らも
分かって
くれる

ミクリオは



僕たち
の旅は
のだ

どこまでオレを受け入れてくれるだろう



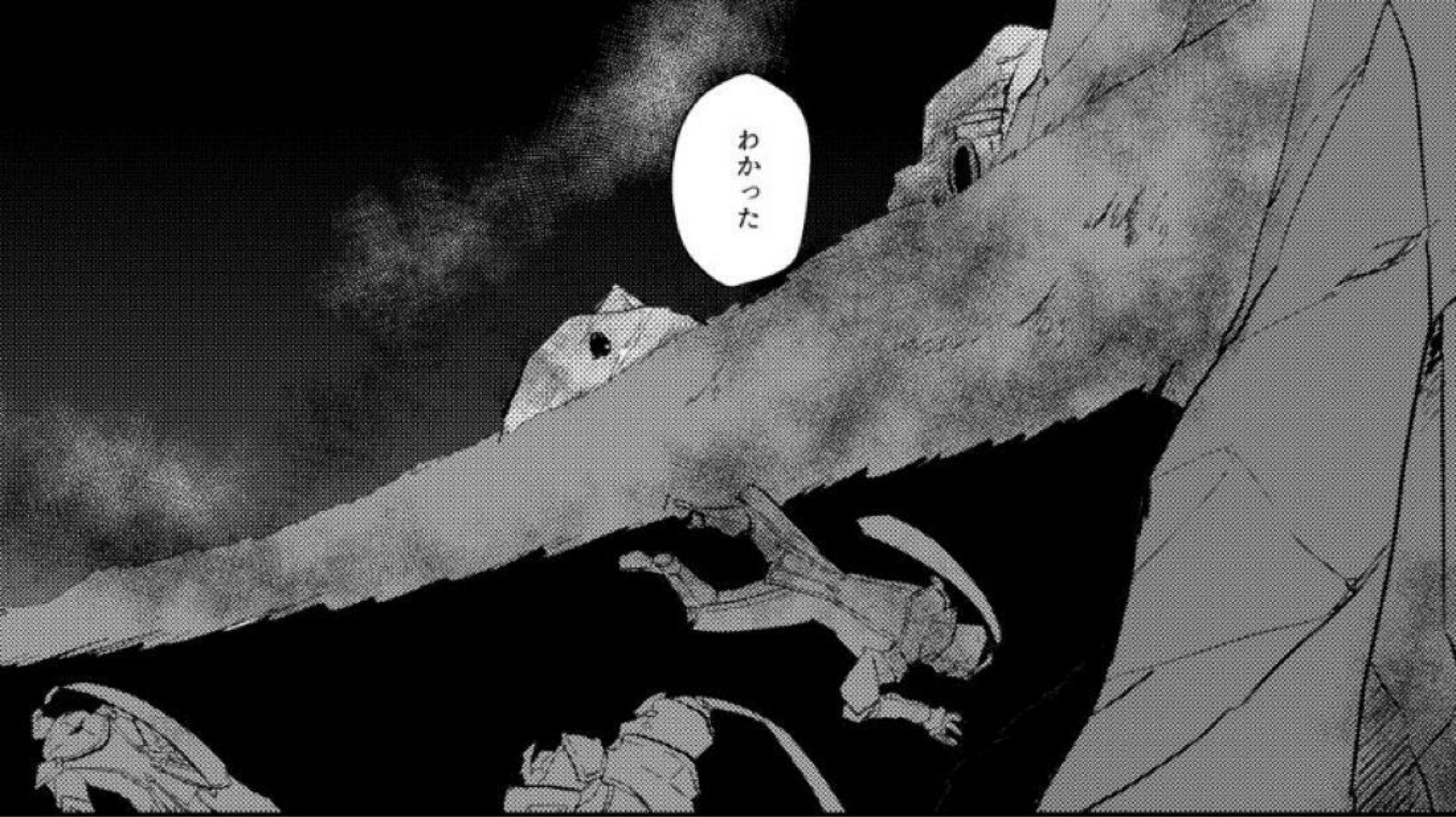
僕は
足で
まとい
に
なる
ため
につ
いて
きた
んじ
ゃな
い

そう
言っ
たよ
な



どこまでも 受け入れてくれるだろうか





わかった



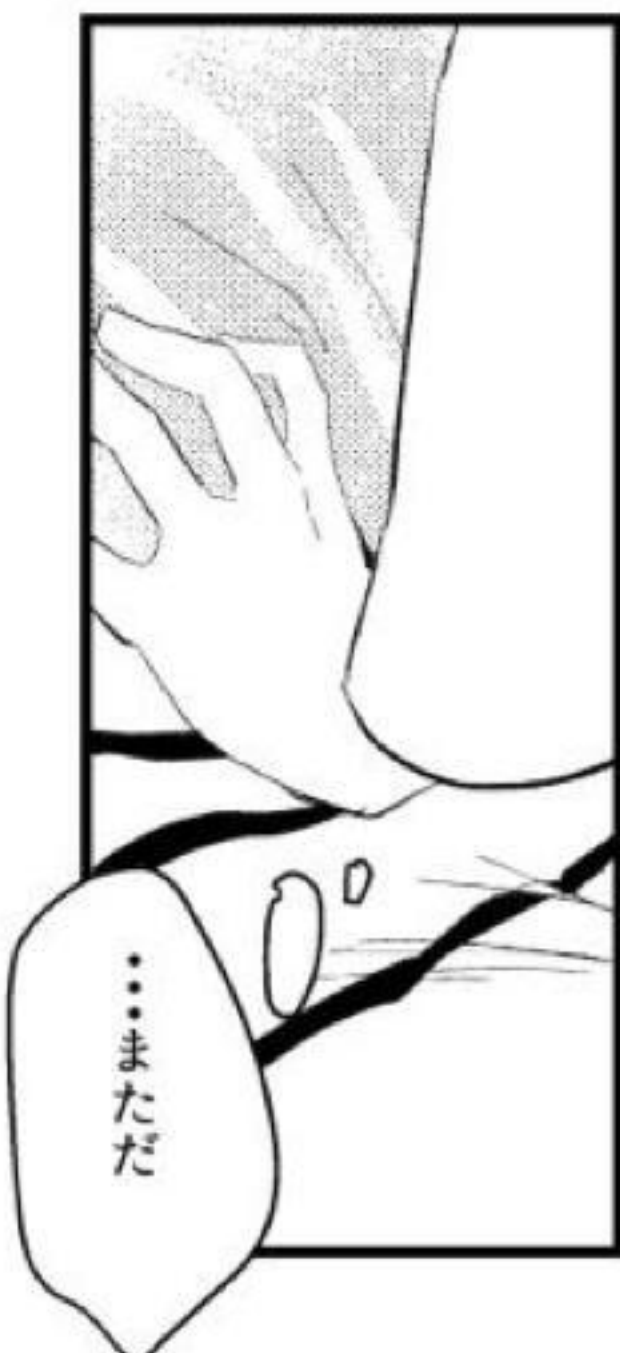
全然知らない
場所に来ちゃった
みたいだな



なんだか



そんなことない





オレの欲しいものは
ミクリオに与えられるようになってる



ミクリオ

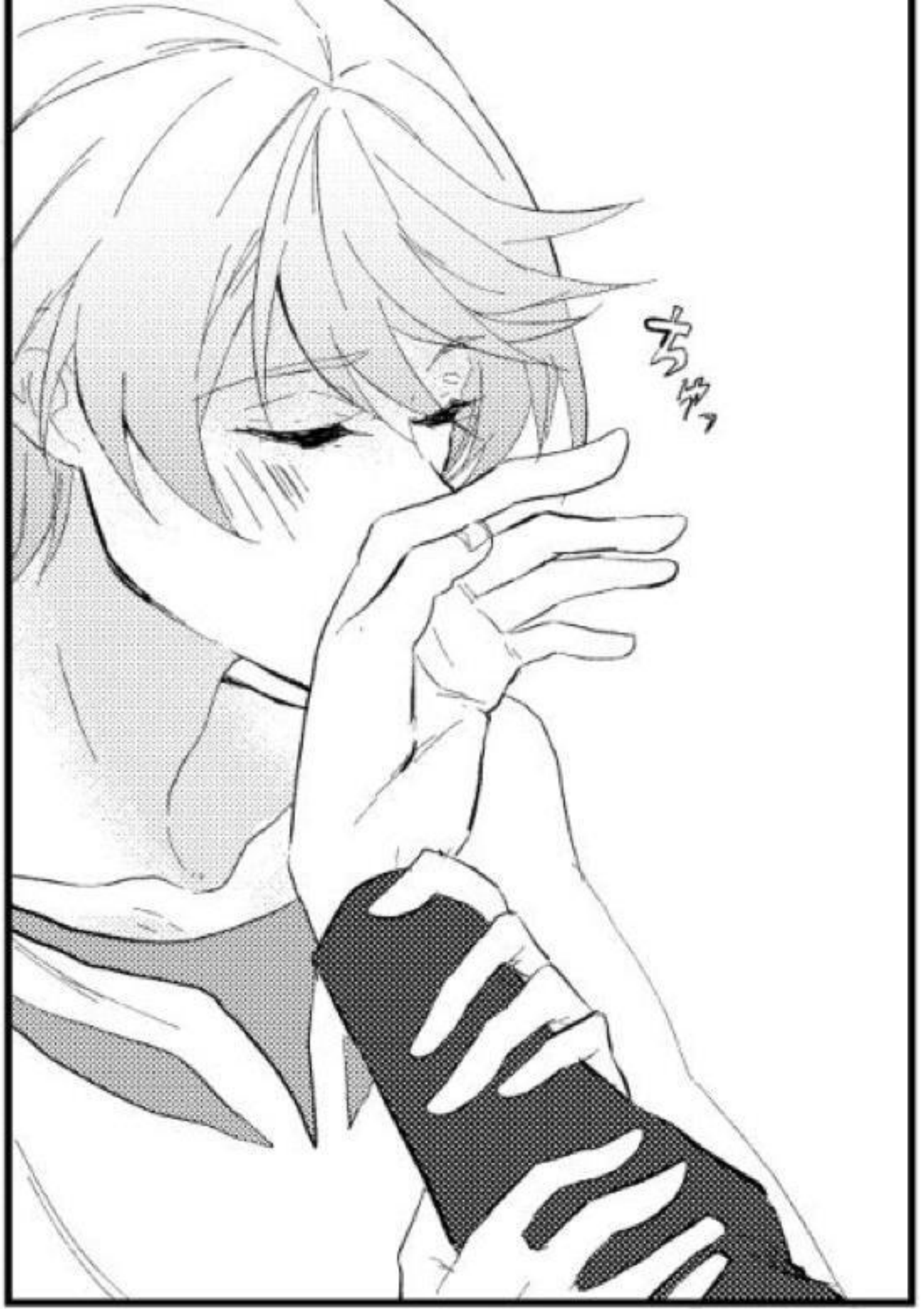




……やっぱり

昔と
同じには
ならないなあ……







自分で
思ってたより

追い詰められてた
みたいだ



そんなことすら
見えなくなつて
しまつていて

でも



ミクリオも
必死で
立ち続けてるって

それが
誰のためなのかって



同時に その事を



どうしようもなく

嬉しいとも思つてしまつていて

ミクリオが自分で選んだことなのだからと



もう大丈夫なのだと 安心できるまで

悠久の時を
生きる彼を
つなぐ鎖が

重く 重く
なるようにと

言葉を投げかけて
続けて

どこまでも逃げ出さずにいるよう
持つ時間全てをつかって
試し続けた



甘えているのだと 分かっているやめられなくて

オレ自身がその事を忘れてしまうほどに
繰り返して



…オレの
出来ることって
本当に少なくて



やってきたことも
どうしようもなく
ままならなかったけれど



全てを受け入れてくれるこの人が



終わりの先まで オレの一部を持ち続けてくれるのなら



至上の人生

なんて
満たされた